

九州体育・スポーツ学会第73回大会要項（R6.8.1現在）

1. 名称：九州体育・スポーツ学会 第73回大会
2. 主催：九州体育・スポーツ学会
3. 主管：国立大学法人長崎大学
4. 共催：国立大学法人長崎大学
5. 後援：長崎県、長崎県教育委員会、公益財団法人長崎県スポーツ協会、
公益財団法人長崎市スポーツ協会、長崎大学教育学部
6. 期日：2024年9月7日（土）～8日（日）
7. 会場：長崎大学文教キャンパス 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14
8. 日程：

9月3日（火）	
13:00～15:00	総務委員会（オンライン）
9月4日（水）または5日（木）	
	理事会（オンライン）
9月7日（土）（1日目）	
9:30～	受付
9:55～10:00	開会式
10:00～12:00	一般研究発表（口頭発表）
12:00～13:00	昼休み・会議（若手優秀発表賞選考関連会議）
13:00～13:10	大会会長からの挨拶
13:10～14:10	特別講演
14:20～16:20	全体シンポジウム
16:30～17:30	総会
18:00～20:00	全体情報交換会
9月8日（日）（2日目）	
8:30～	受付
9:00～10:00	自主企画セッション1・2・3・4
10:10～12:10	専門分科会シンポジウム（総会含む）
12:10～13:10	昼休み
13:10～14:10	九州地区大学体育連合企画、スチューデント・セッション
14:20～15:50	一般研究発表（ポスター発表）
16:00～16:10	閉会式・表彰式
16:10	学会大会終了
16:20～	九州地区大学体育連合理事会

9. お問い合わせ

学会 Web ページ <http://webpages.ihs.kyushu-u.ac.jp/ktsm/>

第 73 回大会 Web ページ <https://sites.google.com/view/kspes73rd>

第 73 回大会専用 E-mail 73rd.kspes@gmail.com

九州体育・スポーツ学会第 73 回大会実行委員会

〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14 長崎大学教育学部 高橋 浩二研究室 気付

連絡先 095-819-2358

10. 第 73 回大会組織

- ・ 大会会長 藤本 登 (長崎大学教育学部長)
- ・ 大会実行委員長 高橋 浩二 (長崎大学)
- ・ 大会実行副委員長 阿南 祐也 (活水女子大学) 久保田 もか (長崎大学)
- (1) 庶 務 高橋 浩二 (長崎大学) 阿南 祐也 (活水女子大学)
- 長津 恒輝 (長崎国際大学) 熊谷 賢哉 (九州産業大学)
- (2) 渉 外 末永 貴久 (長崎国際大学) 福田 理香 (活水女子大学)
- 阿部 麗 (活水女子大学) 小柳 勝彦 (長崎大学)
- (3) 会 計 川口 諒 (長崎純心大学) 元嶋 菜美香 (九州産業大学)
- (4) 研 究 飛奈 卓郎 (長崎県立大学) 江島 弘晃 (長崎国際大学)
- 野田 章子 (長崎女子短期大学)
- (5) 会 場 久保田 もか (長崎大学) 田端 真弓 (長崎大学)
- 大山 泰史 (佐世保工業高等専門学校)
- 古瀬 由佳 (佐世保工業高等専門学校)
- 中尾 健一郎 (長崎短期大学)
- (6) 参 与 山内 正毅 熊野 晃三
- ・ 大会役員 杉山 佳生 (九州大学)
- 兄井 彰 (福岡教育大学) 柿山 哲治 (福岡大学)
- 田原 亮二 (西南学院大学)
- 本多 壮太郎 (福岡教育大学) 山崎 先也 (西南学院大学)
- 元嶋 菜美香 (九州産業大学) 中島 憲子 (中村学園大学)
- ・ 顧問 白木 静枝 佐久本 稔
- 徳永 幹雄 松永 淳一
- 進藤 宗洋 井上 勝子
- 山本 勝昭 金崎 良三
- 橋本 公雄 根上 優

大会参加申し込み

(1) 申し込み締め切り日

2024年7月19日（金）

(2) 大会参加申し込み方法

大会参加・発表申込は第73回大会 Web ページよりご登録ください。

(3) 大会参加費

大会参加費の納入は、下記口座にお振り込みください。なお、送金に関する手数料は、各自ご負担ください。

事前申し込み（7月19日まで）とそれ以後での参加費は、料金が異なっていますので、5ページの会費一覧をご参照ください。入金確認のため、大会参加費の種別について第73回大会 Web ページよりご登録ください。

振り込みに関する重要なお知らせ

納入期間を以下の期間に限定します。

納入期間：8月26日（月）～8月30日（金）

振り込みにつきましては、一人ひとり別々に振り込んでください。複数人数分をまとめて振り込むことは絶対にしないでください。事務が大変煩雑になります。

【大会実行委員会専用銀行口座】※大会参加費のみ

銀行：十八親和銀行浦上支店（店番号150）

種類：普通 口座番号：5011856

名義：九州体育スポーツ学会第73回大会実行委員会 会計 川口 諒

振込み例) 名義は氏名（所属）の順で御入力ください。

ナガサキ マサハル（ナガサキダイガク）

校費で入金される方は特にご注意ください。

一般研究発表申し込み手続きおよび申し合わせ事項

保健体育・スポーツに関する研究であって、未発表の研究で完結しているものとします。口頭発表およびポスター発表において筆頭演者としての登壇は、個人研究、共同研究を問わず1人1回に限ります。

(1) 研究発表申し込み資格

演者、共同研究者（当日参加しない者も含む）とも下記①もしくは②の会員で第73回大会参加費を収めた者とする。

① 2024年度九州体育・スポーツ学会年会費を納入済または一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会会費から自動引落としにより本学会年会費を納入する会員

② 上記以外で会費を納入される会員

自動引落としの手続きをしておらず本年度会費が未納な方は年会費5,000円（学生年会費

2,500円)を7月19日(金)までに学会事務局口座に納付してください。大会実行委員会専用銀行口座に振り込まないように気を付けてください。

【学会事務局口座】※年会費のみ

郵便振替番号：17310-21783811 加入者名：九州体育・スポーツ学会

【他の金融機関からの振り込みの場合】

ゆうちょ銀行 口座名：九州体育・スポーツ学会事務局 店番：738 店名：738

預金種目：普通預金 口座番号：2178381

振込み例) 名義は氏名(所属)の順で御入力ください。

ナガサキマサハル(ナガサキダイガク)

(2) 申し込み締め切り

2024年7月19日(金)

(3) 発表申し込み方法

大会号原稿：大会号原稿作成要領(第73回大会 Web ページに掲載)に従い作成した word ファイル*を、研究発表申込の7月19日までに大会実行委員会宛にメール添付で送信してください。*プログラム作成の際に校正する必要があります。

第73回大会専用 E-mail：73rd.kspes@gmail.com

機関誌抄録原稿：機関誌抄録作成要領(第73回大会 Web ページに掲載)に従い作成した PDF ファイルを、大会前日の9月6日までに学会事務局宛にメール添付で送信してください。

学会事務局 E-mail：kyutai.office@gmail.com

- ① 若手優秀発表賞：35歳未満(1989年4月2日以降生まれ)の会員で若手優秀発表賞への申請を希望される方は、機関誌抄録作成要領に従い作成した抄録原稿ファイルを、研究発表申込(7月5日まで)時に学会事務局宛に添付して提出してください。
- ② ポスター発表賞：本学会会員(年齢制限なし)でポスター発表賞へ申請を希望される方は、8月30日(金)までにポスターの PDF ファイルを学会事務局宛にメール添付して提出してください。

(4) 発表方法

① 口頭発表(オーラルセッション)

1 演題につき発表12分、質疑応答5分の計17分です(発表申込み数によって変更する可能性があります)。各自で PC(必要に応じて変換アダプタ)を持参してください。HDMI(タイプ A)・VGA ケーブル及び差し込み口の利用が可能です。事情により PC 等を持参できない場合は、大会実行委員会宛にメールで相談してください。

② ポスター発表(ポスターセッション)

1 演題につき90cm(横)×180cm(縦)のポスターパネルを用意します。指定された時間帯に各自のポスターの前に立ち、参加者と討論していただきます。

(5) 発表取り消し・変更

2024年7月19日(金)までに大会実行委員会宛にメールでご連絡ください。

会費一覧および大会までのスケジュール

(1) 会費一覧

事 項		金 額
事前申し込み (7月19日まで)	参加費	一般会員 3,500円 (不課税)
		学生会員 1,500円 (不課税)
当日 (7月20日以降)	参加費	一般会員 4,000円 (不課税)
		学生会員 1,500円 (不課税)
		当日会員 1,000円 (不課税)
特別共同発表者参加費 (6月21日までに届け出が必要)		3,500円 (不課税)

- ※ 本学会員以外の外国人あるいは他の分野の研究者（企業等含む）を特別共同発表者として加えることができます（筆頭発表者にはなれません）。特別共同発表者を登録する発表者は所定の様式を6月21日（金）までに大会実行委員会宛（73rd.kspes@gmail.com [研究担当：飛奈]）にメール送信してください。後日、登録の可否について、実行委員会から連絡します。
- ※ 振り込みにつきましては、一人ひとり別々にお振り込みください。複数人数分をまとめて振り込まないようご注意ください。
- ※ 年度会費納入および入会手続きは、別途「九州体育・スポーツ学会事務局」にお願いします。

(2) 大会までのスケジュール

事 項	締め切り等	担 当
大会参加事前申し込み	2024年7月19日（金）	実行委員会
研究発表申込（大会号原稿の入稿）	2024年7月19日（金）	実行委員会
大会参加費納入（事前申し込み）	2024年8月26日（月） ～8月30日（金）	実行委員会
発表取り消し・演者変更	2024年7月19日（金）	実行委員会
機関誌抄録原稿（ファイル）	2024年9月6日（金）	学会事務局

学会大会派遣依頼書

学会大会派遣依頼書の必要な方は、第73回大会 Web ページからダウンロードしてご利用ください。<https://sites.google.com/view/kspes73rd/home/format?authuser=0#h.6ko29k6eqeom>

交通について

○JR 長崎駅から

路面電車 「長崎駅前」→（赤迫行き）→「長崎大学」下車
 長崎バス 「長崎駅前」→（1番系統「溝川」、「上床」、「上横尾」行き）→「長崎大学前」下車

○JR 浦上駅から

路面電車 「浦上駅前」→（赤迫行き）→「長崎大学」下車
 長崎バス 「浦上駅前」→（1番系統「溝川」、「上床」、「上横尾」行き）→「長崎大学前」下車

○長崎空港から

県営バス 「長崎空港 4番のりば」→（昭和町・浦上経由長崎方面行き）
 →「長大東門前（旧：長大裏門前）」下車

長崎大学文教キャンパス周辺地図



その他

(1)昼食について：

大学周辺の飲食店をご利用ください。大学近くにコンビニエンスストアもあります。

*長崎大学生協食堂は期間中に工事が予定されています。1階売店は9/7（土）のみ営業します。

(2)託児所について：

第73回大会では、託児所の開設を予定していません。事情がある場合は、大会実行委員会宛にメールで相談してください。

(3)受付及びクロークについて：

1日目（9月7日）、2日目（9月8日）共に25番講義室を予定しています。

(4)無線 LAN (Wi-Fi) について

会場の長崎大学では、ビジター用アカウントを発行することができます。eduroam 参加機関の方は、ご自身のアカウントでeduroamが利用できますので、ビジター用アカウント発行は必要ありません(<https://www.eduroam.jp/about>)。

(5)全体情報交換会

学会員相互の交流を深めるための情報交換会を開催します。大会参加申込時に情報交換会の参加についても申込を済ませてください。情報交換会の会費は現地でお支払いください

日時：9月7日(土) 18:00~20:00

会場：フラワーメイト (〒852-8137 長崎市若葉町 1-24 フラワーメイトビル)

*長崎大学正門すぐ近くです

会費：一般会員 5,000 円 学生会員 3,000 円 (現地でお支払いください)

プログラム

講演、シンポジウム、各セッション等の概要

【特別講演】9月7日（土）13:10～14:10

テーマ	新型コロナ対策を振り返る：感染症に強い地域社会をめざして
講演者	高山 義浩（沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科 副部長）
司 会	飛奈 卓郎（長崎県立大学）
概 要	<p>体育の授業やクラブ活動は飛沫や人との接触が起こりやすい環境のため、教員や指導者には感染症予防のリテラシーも必要である。本大会参加者も新型コロナ禍では様々な思いの中で教育や生活で対応をしていたと察するが、行政や医療の意思決定プロセスを少しでも共有できれば、今後同様の事象が起こった際の情報の受け止め方が変わるのではないか。2002年のSARS、2012年のMERSといった新興感染症は約10年の期間で繰り返し発生しており、また身近では毎年のようにインフルエンザの流行も起こっている。</p> <p>特別講演では、新型コロナの感染拡大を振り返って、定期的に発生する感染症拡大への取組みを学び、今後の備えを考える機会としたい。</p>

【全体シンポジウム】9月7日（土）14:20～16:20

テーマ	体育における多様性の理解～共生社会の実現に体育はどのように寄与できるのか～
演 者	井谷 恵子（京都教育大学名誉教授）
演 者	笠井 妙美（東海大学）
演 者	石橋 善仁（長崎県立島原特別支援学校）
コーディネーター	梶 ちか子（鹿屋体育大学）
司 会	梶 ちか子（鹿屋体育大学）
概 要	<p>近年、Well-being という概念が世界的に注目され、その実現に向けては、共生の視点が育まれた持続可能な社会が求められている。第3期スポーツ基本計画においても「誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現」することが目標として掲げられた。したがって、体育・スポーツ活動においては、障害の有無、年齢や性別、セクシュアリティ、人種、体格、体力・技能の程度等に関わらず、全ての人々が相互に多様な個性を認め合い、それぞれが最大限に能力を発揮できるよう取組を工夫することが必要不可欠である。</p> <p>本シンポジウムでは、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現することをゴールとした際、体育授業時に重視すべき工夫や配慮について、「多様性の理解」をキーワードとして議論し、参加者の気づきを促したい。その上で、体育・スポーツが、共生社会の実現に寄与できる可能性について論究したい。</p>

【専門分科会シンポジウム】

[第1専門分科会] 9月8日(日) 10:10~12:10

テーマ	スポーツを通じた学びとは何か？(続) キャリアの先にあるもの
演者	高山 侑花(福岡ギラソール選手、株式会社リトルソフトウェア)
演者	古門 良亮(西日本工業大学)
演者	萩原 悟一(九州産業大学)
司会	萩原 悟一(九州産業大学)
概要	昨年のシンポジウムでは、スポーツと学業を両立させる「デュアルキャリア」の概念に触れ、両立に成功した場合に期待できるメリットや機会について、討論をおこなった。今年度のシンポジウムでは、デュアルキャリアを実践し、その先にあるキャリアは何なのかを考えることを目的とし、現役アスリートとして活動する高山氏、eスポーツアスリートを育成する古門氏を迎え、ご参集いただく研究者、教育者、実務家の方々と議論を展開していく。

[第2・5専門分科会] 9月8日(日) 10:10~12:10

テーマ	科学的知見が現場のトレーニングに行き着くあるいは発信されるプロセス
演者	油谷 浩之、木下 恒司(スマートシステムストレングス社)
司会	坂元 康成(佐賀大学)
企画	増村 雅尚(九州産業大学)、坂元 康成(佐賀大学)、熊原 秀晃(中村学園大学)、田原 亮二(西南学院大学)
概要	アカデミアの研究成果を現場(選手・チーム)の競技力向上へ繋げようとする試みは予てより行われている。しかし、現場の主観や経験の偏重や、それらを科学することを拒まれる実態もあるように思われる。このような実態を招いていることは、現場から発信される重要な知見を科学する機会を逸することにもなり、どの立場でも不利益を被る状況にあると考えられる。本シンポジウムでは、基礎研究の知見の競技現場への導入や、現場経験を科学へフィードバックする試みの実例を話題提供いただく。競技スポーツ分野における望ましい橋渡し研究における研究者と現場の課題について議論したい。

[第3・4専門分科会] 9月8日(日) 10:10~12:10

テーマ	アフターコロナにおける子どもの体力の回復及び運動習慣の再形成
話題提供者	野田 耕(久留米大学)、高井 洋平(鹿屋体育大学)、讃井 理香(あたごはま幼稚園)
司会	梶 ちか子(鹿屋体育大学)
企画	西田 明史(中村学園大学)、梶 ちか子(鹿屋体育大学)、神谷 義人(名桜大学)、音成 陽子(中村学園大学)
概要	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点は、コロナ以前の水準に至らなかった。また、体育授業以外の運動時間は減少傾向が続き、幼児の運動促進のための取組をしている自治体の割合もコロナ以前の水準まで至っていない。 このような状況の今、子どもの体力の回復及び運動習慣の再形成を目指し、子どもの体力や運動能力の現状、保育・授業内、業前業間・放課後等の取組事例から、その効果や課題について検討する。

【自主企画セッション1】9月8日（日）9:00～10:00

テーマ	運動・スポーツを通じた、学生・教員・地域の協働活動の可能性
話題提供者	西田 明史（中村学園大学）、福永 涼華（中村学園大学教育学部 4 年）、松本 駿（中村学園大学教育学部 4 年）、梶 ちか子（鹿屋体育大学）、有菌 ゆい（鹿児島工業高等専門学校）、郷原 大晴（鹿屋体育大学大学院）
司会	西田 明史（中村学園大学）、梶 ちか子（鹿屋体育大学）
企画	西田 明史（中村学園大学）、梶 ちか子（鹿屋体育大学）
概要	<p>大学の運動やスポーツに関する「知」を地域に還元し、地域の課題解決や活性化に取り組む活動は非常に重要である。また、その活動に学生が参画することで、学生自身にとっても貴重な実践活動の場となり、大学教員にとっても有益な人材育成や教育活動となる。</p> <p>本セッションでは、学生が企画・実践した地域の幼児や児童を対象とした運動遊びプログラムの事例（中村学園大学）、学校現場における体育授業や運動指導等の学生ボランティア活動の事例（鹿屋体育大学）を通して、運動・スポーツを通じた、学生・教員・地域の協働活動の可能性について探る。</p>

【自主企画セッション2】9月8日（日）9:00～10:00

テーマ	スポーツサーフェイスについて考える-剣道を事例として-
話題提供者	池田 孝博（福岡県立大学）、前田 英樹（株式会社五感）
司会	池田 孝博（福岡県立大学）
企画	池田 孝博（福岡県立大学）
概要	<p>剣道の試合場は、「板張り」を原則とすることが規則で定められている。しかしながら、実際に試合や稽古が行われる床面（サーフェイス）の多くは表面塗装が施され、床の材質を規定することの意味が失われている。また、剣道で重要な動作の一つである「踏み込み」に関わる緩衝性には規格が存在していない。国際的にも広く愛好される剣道の試合や稽古に適したサーフェイスについて考えることは、重要な課題の一つと思われる。剣道のサーフェイスに関する研究成果と、剣道場（床面）の施工業者による情報提供をもとに、剣道のみならず、他のスポーツ種目関係者とともに、スポーツサーフェイスについて議論したい。なお、このセッションは日本武道学会九州支部との共同企画で実施する。</p>

【自主企画セッション3】9月8日（日）9:00～10:00

テーマ	アスリート・センタード・コーチングの現場への実装とジレンマ 望ましいコーチングの方向性を模索する
話題提供者	八尋 風太（至学館大学）、玉田 理沙子（志学館大学）
司会	渡邊 裕也（日本経済大学）
企画	渡邊 裕也（日本経済大学）
概要	<p>理論と実践で大きな剥離が生じやすいチームビルディングに焦点を当て、スポーツ心理学やコーチング学を専門として研究に携わる者からは研究で得られてきた知見・成果を、スポーツ現場で指導実践を行うコーチ・部活動顧問からは現場での困難さや工夫について話題提供を得ることで、相互の語りの中から今後の望ましいチームビルディングの在り方を検討していく。</p>

【自主企画セッション4】9月8日（日）9:00～10:00

テーマ	長崎県の健康づくりについて
話題提供者	松本 公子、鶴田小百合（長崎県福祉保健部国保・健康増進課健康づくり班）
司会	末永 貴久（長崎国際大学）、飛奈 卓郎（長崎県立大学）
企画	末永 貴久（長崎国際大学）、飛奈 卓郎（長崎県立大学）
概要	健康日本 21（第三次）が策定され、身体活動・運動分野の取組の推進に資するよう「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」が策定された。長崎県においても「健康ながさき 21（第三次）」を推進し健康寿命の延伸に取り組むにあたり、県の担当者から現状の報告や県の取り組みを紹介してもらい、運動指導者の果たす役割や、実際の指導のポイント、問題点などについてディスカッションする。

【スチューデント・セッション】9月8日（日）13:10～14:10

テーマ	体育・スポーツ学との出会いと将来の展望
演者	田中 響（鹿屋体育大学大学院）、引地 優人（鹿屋体育大学大学院）、山口 遼馬（長崎大学教職大学院）
司会	郷原 大晴（鹿屋体育大学大学院）、引地 優人（鹿屋体育大学大学院）
企画	郷原 大晴（鹿屋体育大学大学院）、引地 優人（鹿屋体育大学大学院）
概要	体育・スポーツ学の大学院は様々なバックグラウンドを持った人が集まり、研究に励んでいる。また、大学院修了後は多種多様な道へと進み、培ったスキルを活かすことになる。これまでお互いの研究について話すことはあったが、体育・スポーツ学研究を選んだ理由や将来のプランについて話す機会は限られていた。そこで本セッションでは、各々の研究内容だけでなく、大学院に入学したきっかけや修了後の展望についてお互いの意見を聞くことで研究への意欲が向上し、今後のキャリア形成の一助となることを期待する。

【「九州地区大学体育連合」・「九州体育・スポーツ学会」合同企画】

9月8日（日）13:10～14:10

テーマ	大学体育授業における合理的配慮
演者	高柳 茂美（九州大学）、山本 浩二（北九州市立大学）
企画代表者	九州地区大学体育連合企画委員会 田原 亮二（西南大学、九州体育・スポーツ学会大会企画委員長）
概要	今年度から合理的配慮が義務化となり、対応の強化が求められている。九体連と学会の合同企画では、大学において体育実技を行う際の合理的配慮について、受講までのマネジメントおよび授業のマネジメントの観点から講演いただき、合理的配慮をする上で注意すべき点について整理し、担当教員、受講生が過度な負担を受けることなく取り組める大学体育授業について考える機会としたい。